

# 川上宏奨学金受給研究成果報告書

研究題目：「ニュータウンのコミュニティ形成——滝山地区の東京花祭りを中心に——」

## 1. 研究目的

本研究は、新興住宅地である東京都東久留米市滝山地区において、愛知県奥三河の山間部で700年にわたって伝承されている花祭りを「東京花祭り」として受け継いでいる背景を明らかにすることを目的としている。一体、東京のニュータウンと呼ばれる新興住宅地において、新たに取り組みられる祭りがどのような意味を持ち、どのようなコミュニティが形成されているのかという問いを掲げ、文献調査、インタビュー調査、フィールドワークを実施した。

## 2. 研究方法

本研究でおこなった調査は、文献調査、インタビュー調査、フィールドワークである。まず、新興住宅地において祭りに取り組む意味や背景を明らかにするために文献調査をおこなった。次に、東京花祭りの開催に至る経緯や背景を明らかにするため、東京花祭りを始めた邦楽家夫妻や次男にインタビュー調査をおこなった。また、東京花祭りを担う人々の関係性やつながりを明らかにするため、東京花祭りの練習や祭り当日にフィールドワークをおこなった。

## 3. 研究結果・考察

まず、多摩ニュータウンの取り組みを研究している金子淳氏の『ニュータウンの社会史』（2017）より、新興住宅地では欠如した歴史を埋め合わせる「代替物」として、たびたび他地域の祭りや芸能が取り入れられてきたことが明らかになった。

次に、東京花祭りの開催に踏み切った邦楽家夫妻へのインタビュー調査から、東京花祭り開催の背景には、「花祭りをなくしたくない」という夫妻の思いと夫妻の次男が愛知県北設楽郡東栄町御園地区の花祭りの舞を幼いころから仕込んでもらったこと、さらには、過疎高齢化による担い手不足を抱える御園花祭保存会が花祭りに取り組む他地域の団体に協力する姿勢を示したことが主な要因としてあげられることがわかった。

また、東京花祭り主催団体（東京花祭りの会）の現代表を務める、邦楽家夫妻の次男へのインタビュー調査や東京花祭りの練習、祭り当日のフィールドワークから、東京花祭りの会には、幅広い世代の会員たちが子どもたちの成長を見守る体制や子育ての悩みを相談しあ

える環境が確認できた。さらに、会員たちは花祭りという芸能そのものへの憧れや思い入れを抱いていることもわかった。

本研究全体を通して、東京花祭りには花祭りという芸能への強い思いと幅広い世代の会員たちが皆で子どもを育てているという側面が見えてきた。つまり、子育てや芸能、幅広い世代の交流における人と人とのネットワークの結節点になっている。地域住民とのかかわりが生まれにくい新興住宅地において、東京花祭りは子育ての孤立化を防ぐ子育ての場として機能するとともに、コミュニティを形成する役割を果たしているといえる。

今回の研究では、新型コロナウイルスの影響を考慮し、東京花祭りが受け継いでいる愛知県の御園花祭りについてフィールドワークをおこなうことは叶わなかった。今後、機会があれば山村地域の芸能と新興住宅地の祭りについて知見を深めていきたい。

#### 4. 奨学金の主な用途

- ・書籍代
- ・東京都立中央図書館への交通費
- ・滝山図書館への交通費
- ・滝山地区での現地調査にかかる交通費（4回）
- ・調査協力者への謝礼品代（複数回分）

#### 5. 謝辞

本研究をおこなうにあたり奨学金を給付して下さった故川上宏先生とご家族、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。奨学金をいただけたことで、調査にかかる交通費や謝礼品代を案じることなく調査に励むことができました。本当にありがとうございました。